

園芸専門店による園芸愛好家の為のネット通販モール 『Green Plants』

横浜植木(株) 坂井清志

横浜植木(株)はホームセンター様との直接取引は殆どなく、直接或いは各地の間屋様経由、園芸専門店様とのお取引に特化しております。

一昨年、全国の園芸専門店様を訪問した際、異口同音に聞かれた声は、①ホームセンターにお客様を奪われている、②既存顧客の高齢化が進む一方、新規顧客が獲得できないでした。又、③ネット通販に興味があるがやり方が分からない、大手ネット通販モールに出店したが、手間がかかるものの受注が少なく儲からないとのこと指摘も伺いました。

このような声を踏まえ、昨年4月に一連の業務を弊社が代行(業務受託)する、ネット通販モール『Green Plants』(<http://www.greenplants.info/>)を立ち上げました。

本モールのコンセプトは、弊社の取扱商品を売る為だけではなく、多数の園芸専門店様の複合商業集積として、

- ア. 出店各店はその個性・専門性を競い、
- イ. 園芸愛好家の方々へは、園芸関連の色々な商品・情報及び比較購買の場を提供する

というもので、以って「園芸市場の拡大を図る」というものです。

具体的な業務の流れは、弊社がモールを維持管理の上、出店園芸店様に代わって、お客様からの受注、商品の集荷配送、代金回収を行うもので、出店園芸店様のメリットは

- ①紙面の制作・受注・配送手配・代金回収も弊社が行うので、店頭業務に注力できる
(出店園芸店様には売主として、商品に係わる問い合わせ・クレーム対応、店頭出荷商品の梱包を担っていただきます)
- ②月額固定掲載料負担は無く、売れて初めて弊社へ成功報酬として業務委託料を支払うという点です。

『Green Plants』は昨年4月に開業しましたが、弊社でSEO対策等を行っており、今後は大手のネット通販モールにも出店し、一層の知名度アップを図る予定です。

出店者を弊社取引先様に限定しておりませんので、ご興味のある方は是非ご連絡下さい。又、今後花の生産者直売コーナーを設置したいと思っておりますので、生産者の方でお客様への宅急便梱包(個装)対応ができる方も、是非ご一報下さい。業界活性化の一助になればと念じておりますので、どうぞご支援・ご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

連絡先：横浜植木株式会社事業開発部
電話：045-262-7408
FAX：045-231-3968



カエデ
kaede

● 見つけに行こう '12年のトレンド

ガーデントライアルIN八ヶ岳2011いよいよ開幕 9月27日～28日

バイヤーをはじめ流通関係者、生産者等業界関係者 1000 名余が参加した昨年のガーデントライアルIN 蓼科は、会場をフィオーレ小淵沢（山梨県北杜市）とチバナーセリーに移し、規模を3倍に拡大して31社で開催します。資材・雑貨など関係社が21社と過半を占めますが、植物関係も12社・グループが出展します。

今回の特徴は、植物関係では、サカタのタネが昨年の1小間からハウス1棟に規模拡大して出展するほか、ガーデンを考える会生産者部会、関東、東海、関西の各支部がそれぞれグループ数名で共同出展するので、多彩な鉢物が出揃うことになりそうです。

同時開催のフラワートライアルジャパンは9月27～29日開催。



昨年のトライアル会場

● 27日午後には矢野所長のセミナー

27日には、13:30～15:00に、「英国ガーデンの現状と日本のガーデンのあるべき姿について」をテーマにした、前ホームセンター園芸バイヤー、ガーデンスタイル研究所の矢野信行所長の講演があります。内容は、① 2011 チェルシーフラワーショーでの傾向、② 英国小売店の実態（花・野菜や関連品の展開例）、③ 日本で普及可能な商品群やサービスとは——となっています。参加費：ガーデンを考える会会員 3,000円（一般 5,000円）。

問合せは事務局まで。 <http://www.npogarden.com/gtrial/>

● IFEX/GARDEX/EXTEPO 10月13日～15日

今年も新規企画、生産者フェア、ツールジャパンほか

花・ガーデン業界アジア最大の商談会「第8回国際フラワーEXPO (IFEX)」「第5回国際ガーデンEXPO (GARDEX)」「第3回国際エクステリアEXPO (EXTEPO)」が、10月13日～15日の3日間、幕張メッセで開催される。今回は過去最大の1440社が出展（同時開催展含む）、来場者は4万人を見込んでいる。

IFEXの今回の目玉は、新たに企画した「生産者フェア」で、200社以上の生産者が出展する。

GARDEXは、昨年好評だった「ガーデニング・ファッションゾーン」にガーデンエプロンやグローブ（園芸用手袋）メーカーが新規に数社加わるなど展示ゾーンが倍増、また「ガーデン雑貨ゾーン」「家庭菜園ゾーン」も増加するなど、園芸業界で伸びている分野の出展メーカーが大きく増えている。

EXTEPOは、3月の震災で東京でのエクステリア展示会が中止になったこともあり、今年の新製品発表の場として注目を浴びている。出展社は前年（74社）を3割程度増える見込み。 <http://www.ifex.jp/>





カエデ
kaede

フラワーバルブ・オブ・ザ・イヤー 2011

チューリップ‘フラッシュポイント’

今年のフラワーバルブ・オブ・ザ・イヤーに、チューリップ‘フラッシュポイント’が選ばれた。八重咲きで咲き進むと鮮やかなピンク色が乗ってくる、とてもかわいらしい花。

オランダ国際球根協会ではこれまで11年間、6カ国で「フラワーバルブ・オブ・ザ・イヤー」を選定してきた。専門家によるメンバーが候補となる品種を推薦し、その後、ガーデンのトレンドなどに詳しい審査員によって決められる。



フラワーDream 2011

東日本大震災の復興を支援

第3回目となる「フラワーDream 2011 in 東京ビッグサイト」が“人に愛、花に愛。花が結ぶ心。”をテーマに7月2～3日に開かれ、約3万人以上が入場した。主催は一般社団法人日本生花通信配達協会（川並裕幸会長、JFTD）。

今回は、3月の大震災を支援すべく、東日本大震災復興支援イベントとして開かれ、花の力を通じて復興支援に貢献することを目指した。具体的には、会場内に募金箱を設置して義援金を受け付け、義援金9万9630円と共に入場料と売上金の一部をあわせて、日本赤十字社を通じて寄付をした。また、被災地、岩手、宮城、福島の3県の県産品販売や被災地の写真展示を行った。



プロも一般も楽しんだ「JAL CUP2011」と「花キューピットグランプリ」会場

会員紹介

マルハチ産業株式会社

生活関連製品の製造メーカーとして創業以来60年にわたり常に時代のニーズに応えたダリヤブランド製品の開発に取り組んで参りました。

特に当社独自に技術によって長年研究・開発されてきた霧吹きは、トリガー式スプレーから畜圧式噴霧器、そして電池式噴霧器に至るまで多くのユーザに愛され続けています。又、人々の生活に密着した家庭用品、レジャー用品の分野においてもその技術を生かして躍進を続けております。

今後とも社会に必要とされる企業であり続けたいと考えております。



〒108-0014 東京都港区芝 4-12-2 クロスサイド田町ビル
TEL : 03-5443-8611 FAX : 03-5443-8614 <http://www.maruhachi08.co.jp>



個性を育てて

花芳 大塩 芳弘



会社を辞め新規就農をして今年で11年目になります。11年経過した今でも花を作り花を売るという事の難しさを感じていると同時に、農家はメーカーであり商品開発、製造、販売をすべて個人で出来ることの面白さを感じています。

就農した当時は市場での市況や評価ばかりが気になり市況が悪いと、いつも人のせいや不況のせいにしていたように思います。「花は食べ物ではないから。生活必需品ではないから。」という人のセリフに大きくなずいていました。私の好きな泉谷しげるさんの歌に「すべて時代のせいにして」という歌があります。

Ah～すべて時代のせいにして
Ah～すべて時間のせいにして
Ah～すべて世界のせいにして
自分の限界きめるな!



花を育てるという事は、自分自身も育てているのだと改めて考えさせられました。

経営規模は大きくはありませんが、個性を磨きオリジナル商品で消費者の心に届くような花作りをしていきたいと考えています。

今、私の農場では長年かけて育種してきたオリジナルの照葉系ハボタン「ピカピカハボタン（エムソン企画様）」ハボタン光子（神戸ジェンヌ企画様）」が育っています。消費者の方々に感動や癒しを感じて頂くことができればと思います。

生産者部会より

手のひらサイズのミニシクラメン

残暑が続くなかまだちょっと早いお話かもしれませんが、暑さ寒さも彼岸まで。あっという間に冬がやってきます。冬の定番商品のひとつと言えば、シクラメン。近年、さまざまなサイズのシクラメンが流通しています。今では、小型化が進みに進んで、こんな手のひらサイズのミニシクラメンも!

吸水スティックを差し込んで、穴なしの器の底面灌水で楽しめます。ちなみに、私の家では5月まで花が咲き続けました。

お部屋のちょっとした飾りにいかがですか?

生産者部会 関東支部 長谷川園芸
長谷川 直哉

